

平成19年度食料自給率向上に関連するイベント一覧

第1回食と農を語る会	6月27日	仙台市	仙台福祉プラザ
<p>テーマ:「地場産食材で Let's 食育」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産食材の利用促進等の取組発表 みやぎ生活協同組合、仙台市立燕沢小学校、(株)北上食品工業、宮城県農協青年連盟 ・農政局長をはじめとする農政局幹部が農業者や消費者など幅広く様々な方々と直接意見交換を行います。 			
米粉利用拡大セミナー	7月20日	仙台市	エル・パーク仙台
<p>米の粉体利用に関する取組を紹介し、関係者の情報交換の場として開催します。</p>			
東北大豆シンポジウム	9月4日	郡山市	福島県農業総合センター
<p>平成19年度から実施される品目横断的経営安定対策に大豆生産農家の加入を促進し、安定的な収入の確保のため、何よりも単収及び品質向上が必要である。その理解を深めていただくために本シンポジウムを開催します。</p>			
第2回食と農を語る会	8月28日	大仙市	大曲交流センター
<p>農政局長をはじめとする農政局幹部が農業者や消費者など幅広く様々な方々と直接意見交換を行います。</p>			
第3回食と農を語る会	9月21日	郡山市	福島県農業総合センター
<p>農政局長をはじめとする農政局幹部が農業者や消費者など幅広く様々な方々と直接意見交換を行います。</p>			
いわて食と観光フェスタ2007	9月28～30日	雫石町	小岩井農場
<p>商工・観光団体と連携し、全国に岩手県の食と観光について情報発信するために開催します。</p>			
仙山交流味祭	10月2～3日	仙台市	勾当台公園市民広場
<p>仙山圏と呼ばれる、宮城県仙台地方振興事務所と山形県村山総合支所管内で生産された野菜や水産加工品など、各地域の特産品が一堂に会する「仙山交流味祭」を仙台地域と山形村山地域で開催します。</p>			
山形県農林水産祭	10月13～14日	天童市	山形県総合運動公園
<p>県内消費者に対して県産農林水産物及びその加工品の愛用と農林水産業の重要性をアピールし、「地産地消」の一層の浸透と生産者及び関係団体の販売意欲の向上を目的に開催します。</p>			
東北地域飼料増産シンポジウム	10月18日	仙台市内	JAビル宮城11階
<p>東北地域における飼料増産の拡大の実現に向け、水田等土地資源に立脚した畜産経営の確立を図るためにシンポジウムを開催し、関係者の一層の意識向上を図ることとします。</p>			

みやぎまるごとフェスティバル	10月20日、21日	仙台市	県庁1階、県庁行政庁舎前駐車場、勾当台公園等
<p>県内の農林水産業の関係団体並びに地方自治体、製造加工業者、販売業者等が一堂に会し、県産品や技能者の作品等の展示・販売・実演など行うことにより、県産品の消費拡大及び地域産業の活性化を図ることを目的に開催します。</p>			
食の国あきた県民フェスティバル	10月20～21日	秋田市	アゴラ広場他
<p>秋田の豊かな食文化等について情報発信するとともに、食育や地産地消を広く県民に普及啓発するために開催します。</p>			
第4回食と農を語る会	10月31日	大崎市	大崎市三本木庁舎内 ふれあいホール
<p>農政局長をはじめとする農政局幹部が農業者や消費者など幅広く様々な方々と直接意見交換を行います。</p>			
秋田県種苗交換会	11月1～7日	湯沢市	湯沢市総合体育館
青森県農林水産祭	11月10～11日	青森市	青森産業会館
<p>「攻めの農林水産業」推進の一環として、県内消費者に対して県産農林水産物及びその加工品の愛用と農林水産業の重要性をアピールし、「地産地消」の一層の浸透と生産者及び関係団体の販売意欲の向上を目的に開催します。</p>			
アグリビジネスフェア2007	12月5日	仙台市	アエル
<p>農林水産・食品産業関係の研究や技術開発の成果について情報交換を行い、事業化に結びつけるための場として開催します。</p>			
食育シンポジウム	12月12日	山形市	山形市保護センター
<p>山形県内の気候・風土に根ざした食に焦点をあて、「伝えていきたい家庭・地域の味」を主テーマに設定し、基調講演とともに参加者とのディスカッションを行います。</p>			
食料自給率向上を総括するシンポジウム	12月18日	仙台市	エル・パーク仙台
<p>東北地域の関係者が取り組んだ食料自給率向上運動を総括するシンポジウムの開催します。</p>			
食育フォーラム	1月24日	盛岡市	アイナー (岩手県民情報交流センター)
<p>農林水産物生産等の体験学習の機会を提供し、自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めるための取組(教育ファーム)について、現状を紹介し今後の推進方向などを考えるために開催します。</p>			